

2014文部科学大臣杯 JAPANKART CUP
with HDX シリーズ第2戦
開催日/5月25日/筑波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/5月25日 天気/晴れ 路面状況/ドライ



文部科学大臣杯 JAPAN KARTCUP with HDX シリーズ第2戦

第2戦には 30 台中 22 台が HDX PRIZE ヘントリー

HDXシリーズ第2戦は開幕戦から2か月後の5月25日、筑波サーキットで開催された。エントリーは30台を数え、DUNLOP タイヤを装着した22台がHDX PRIZE へと参加し、開幕戦と同じく活気溢れるレースとなる。

今回は西地域からはKT100クラスにエントリーしたゲームオンレーシングの山本敏弘選手が、チーム監督とふたりで鳥取県から遠征してきた。道中は修学旅行気分で楽しんで来たこのことで筑波のレースは初めてだという。

正午前、11時をまわった頃にスタートした決勝レース。走行時間はいつもの1時間だ。ローリングスタートを終えて各車、一斉にスタートを切ると、オープニングラップを終えたマシンが早くもピットインしてくる。

これは混雑する時間帯を避け、なるべく空いている時間に規定ピット数を稼ぐ作戦だ。しかし、これだけ一斉にピットインすると、そのメリットも薄くなってしまおうだろう。

その後、レースは順調に進行し、53周を走破したMAXクラスのKASSY with JMPがHDXでのファーストチェッカーを受ける。これは総合順位でも3位という素晴らしい成績だった。コンマ8秒差で続いたのがガレージCブルーエンジェルズでミッションクラスではトップ、総合でも4位に。若手で気を吐いたのが高校生ドライバー、橋本隼選手の「隼 with JMP」だ。MAXクラス2位、総合順位では5位という優秀な成績を取めた。



鳥取から約12時間かけて遠征してきたゲームオンレーシングの山本選手(左)と渡部監督。初めて走る筑波サーキットはカートコースが広がったような感じで、とても自由に走れたという。また、ホームコースの岡山国際サーキットでは、ストレートでパワー差が出るのだが、筑波ではそういった力の差もあまり感じられず、非常に楽しめたそうだ



開幕戦に続いての参戦となった生方靖亜(せいあ)選手。今回は父・生方潤一さんも駆けつけ、愛息のサポートに徹していた。初めてフルカウルを装着したカートで走ったというが、しっかりと乗りこなしていたのはさすが



MAXクラスに参戦したKASSY with JMPがHDXの総合トップとなった



表彰台の超常連チーム、ガレージCブルーエンジェルズはミッションで優勝



OPENクラス優勝はMAXエンジンで参加したS.L.R.Kartingが決める

JAPAN KART

DUNLOP

SUPER KART

TSUKUBA CIRCUIT

FUJI SPEEDWAY



開催コース/筑波サーキット (茨城県)
 主催/日本スーパーカート協会
 開催日/2014年5月25日 天候/晴れ
 路面状況/ドライ
 Report&Photo/月刊 JAPAN KART

2014 文部科学大臣杯 JAPAN KART CUP with HDXシリーズ

開幕戦から約2か月振りの開催となったジャパンカートカップ第2戦は、気温31度という真夏のコンディションのなかでのレースとなった。

今回は西地域から2チームの遠征があり、そのうちの1チームは三重県からやってきた岡山チャレンジカートの入山翔選手だ。初めて尽くしのレースでも総合2位という素晴らしい成績を収める。「WR250 エンジンのカートも、筑波サーキットでのレースも初めてでした。ここは岡山国際より全開区間が長いので、走りやすくて楽しかったです」

そしてもう1チームが鳥取県から遠征してきたゲームオンレーシングの山本敏弘選手だ。「筑波はストレートになると離されるけど、コーナー間が狭く、コーナースピードでは差が出ないので全体的に楽しくレースが出来ました」

という山本選手は KT100 クラスで3位に入賞し、初の筑波で表彰台入りを果たした。

総合優勝は WR250 クラスのガレージC 赤牛から借りましたチーム。こちらは元スーパーカート選手で現スーパー耐久に参戦中の天野翼選手が後輩の指導のために参戦、久しぶりのカートレースに笑顔を見せていた。

真夏を先取りの第2戦は28チームが完走



WR250は「ガレージC赤牛から借りました」に次いで三重からの入山選手が2位(左)



ミッションクラスは常勝チーム、ガレージCブルーエンジェルスが開幕戦に続く勝利



様々なエンジンが使用できるOPENクラスはX30を搭載するレーヴRT1号がWin!



KT100で3位に入賞したのが鳥取から遠征した山本選手(左)。優勝は生方選手(中)



総合でもトップ争いに食い込むMAXクラス。クラス優勝はKASSY wiht JMP がゲット



エンジョイの佐藤那未選手は開幕戦よりも明らかにレベルの高い走りを見せていた



2014文部科学大臣杯JAPAN KART CUP with HDXシリーズ

HDX PRIZE

ポイントランキング

HDX PRIZEに参加登録したチームに対し、クラスの別なくJAPAN KART CUP競技結果獲得ポイントで順位を決定。

HDX PRIZE				Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6		TOTAL
Rank	No	Team	Class	23-Mar	25-May	13-Jul	3-Aug	30-Aug	19-Oct		
				筑波	筑波	富士 S	筑波	富士	筑波		
1	1	73	那未 with JMP	エンジョイ-HDX	20	20					40
2	1	510	ガレージCブルーエンジェルス	ミッション-HDX	20	20					40
3	3	3	隼 with JMP	MAX-HDX	20	15					35
4	3	40	Cボーイ1号	KT100-HDX	20	15					35
5	5	4	生方靖亜	KT100-HDX	12	20					32
6	6	2	Dot Seven & JMP	MAX-HDX	15	12					27
7	6	7	ガレージC 大宮ワークス	ミッション-HDX	12	15					27
8	8	56	TR☆彡 Racing ! +BUNAN	ミッション-HDX	15	8					23
9	8	61	ウォーズマンレーシング	WR250-HDX	15	8					23
10	10	17	BODY WORKS-SP	MAX-HDX	12	10					22
11	11	23	TR☆れ～しんぐ!	ミッション-HDX	10	10					20
12	11	71	Team SYOTA	OPEN-HDX	20	DNS					20
13	11	87	KASSY with JMP	MAX-HDX	-	20					20
14	14	20	S.L.R. Karting	OPEN-HDX	-	12					12
15	14	34	ゲームオンレーシング	KT100-HDX	-	12					12
16	14	96	BODY WORKS ・ K	ミッション-HDX	-	12					12
17	17	99	ガレージシーマチュー	WR250-HDX	-	10					10
18	18	46	P R D Racing4	ミッション-HDX	-	6					6
19	18	555	Y's Speed 1号車	MAX-HDX	-	6					6
20	20	5	高根沢オートクラブ★OBチーム	ミッション-HDX	DNS	4					4
21	21	556	Y's Speed 2号車	ミッション-HDX	-	3					3
22	22	19	S.L.R. Karting	ミッション-HDX	-	DNS					0
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											